

# つかこうへいと筑豊研究会

No. 4

発行：筑ゼミ「つかこうへいと筑豊研究会」

発行日：平成31年1月10日

問合せ先：090-4474-8051(池田)

## 🌸つかこうへい生誕

### 70年記念ツアー公演

#### 劇団「9PROJECT」

#### 大分公演を観劇

「日本の芝居を変えた男」や「つかこうへい以前、つかこうへい以後」と言われ、1970～1980年代にかけて演劇界に大きな影響を与え、「つかブーム」旋風を巻き起こしたつかこうへい氏。

つか氏は1994年、北区と協力して「北区つかこうへい劇団」を設立(2011年解散)。また1996年には大分市と協力して「大分市つかこうへい劇団」を設立(2000年解散)。1998年には北海道北広島市に「つかこうへい北海道演劇人育成セミナー」を開設するなど、地方からの文化の発信を目標に演劇活動に力を入れていましたが、2010年7月10日、肺がんのために62歳で亡くなりました。

昨年は、つか氏の生誕70年を迎え、いろんな劇団でつか氏の芝居が各地で上演されました。

「つかこうへいと筑豊研究会」では、「北区つかこうへい劇団」の解散後に、劇団員の9期生だった渡辺和徳、小川智之、高野愛の3人で設立した「9PROJECT」(大分公演10月24～25日)を観劇しました。

「9PROJECT」は設立以来70～80年代のつか作品を中心に活動している劇団です。

この作品は、つか氏が1982年、第1次演劇活動の拠点・劇団「つかこうへい事務所」を解散し、その打ち上げに書いたもので、その年の大晦日のNHKの「紅白歌合戦」の裏番組としてテレビドラマ化され、話題となりました。

「つか版」といわれるように、「これから始まる物語はフィクションであり、史実、時代考証を超越し、人間関係、生活パターンを無視した現代ドラマである」と、テレビドラマの最初に注意書きが表示されたとか・・・。

日本人にお馴染みの『忠臣蔵』も、「つか版」では過去の傑作を巧みにアレンジしながらも、つか芝

居の真骨頂というべきか、過激で、破壊的で、しかもお馴染みの三角関係の設定で事件が勃発。登場人物の人間性を鋭く描く手法で、観客を魅了します。

芝居が終わった後、劇場のあちらこちらにたむろしている観客の姿が見られ、不思議に思っていると「つか芝居は、観客がすぐに劇場から出て行かず、芝居を振り返るののように感想を観客同士で語り合い、確かめ合っているんですよ」と劇団関係者。これこそが、つか芝居のマジックなのです。

## 🌸つか氏が闊歩した大分市

翌日は、元「大分市つかこうへい劇団」の衛藤延洋氏と田中竜一氏に、大分でのつか氏の足跡を訪ねて市内を案内して頂きました。

衛藤氏は「大分市つかこうへい劇団」の設立に尽力された一人ですが、当研究会でも講演をして頂くなどご協力を頂いております。また、田中氏は劇団員のオーディションに長崎から大分に駆けつけて入団。病院事務が出来た事から、つか氏の紹介で市内の今村病院で事務仕



事をする傍ら劇団活動に励まれていたとの事。

つか氏の下には連日のように東京から出版社の編集者や演劇関係者の来客が引つ切り無しに訪れ、連日連夜飲み明かしては必ず田中氏が勤務する今村病院に駆け付けては点滴を打つのが日課で、劇団事務所に通う日々だったといいます。

その「大分市つかこうへい劇団」の稽古場や事務所は、今村病院から歩いて10分ほどの場所にありましたが、4階建てのビルは老朽化で、4〜5年前に解体され、現在は市の駐車場と化していました。

また、大分市は駅舎をはじめ、駅周辺は新しいビルが建ち、つか氏が闊歩したであろう同じ道を歩きながら、あまりにも変容に20年という月日を感じた次第です。

衛藤さんと田中さんに案内されていった居酒屋食堂「てんでん」は、つかさんがよく利用された店の一つで、昼食をいただきました。

「つかさんと出会わなかったら、公務員として平凡に終わった」と語る衛藤さんは、現在は大分市議

会議員として活躍され、市内を案内してもらっている時も、いろんな人から声を掛けられ、慕われている様子がうかがい知れました。

また田中さんは、現在も今村病院に勤務されています。

衛藤氏に市内を案内して頂きながら、「私(池田)は父親の実家が大分市は坂ノ市」と話すと、衛藤氏が市役所時代に坂ノ市に池田という先輩がいて親しくされているというお話を聞き、同一人物かなと思つて帰ってきました。

そして今年、本家から届いた年賀状に「東京在住中に毎年つかこうへい劇団の新人オーディションの審査委員に関わり、新宿紀伊国屋ホール『売春捜査官』の公演にも関わっていた」と記されておりびっくりいたしました。

両親が亡くなり、本家との交流も疎遠になって久しかったのですが、池田家のルーツを求めて3〜4年前に本家を尋ねたものでした。そしてこの度、その本家ともつかこうへい氏を通して繋がりがあったことに不思議な「ご縁」を感じたものでした。

## ●つか氏の生前の貴重な

### 稽古風景や公演のCDも

また、この大分公演では、つかこうへい氏の作品集を筑豊の図書館等にご寄贈をいただいた(株)トレンドシエアの吉川明希さんが東京から駆けつけてこられ、これまでは手紙だけのやり取りだけでしたが、突然にご本人が目の前に現れた時は、暫らくは信じられませんでした。吉川さんは、9PROM JECTの公演を欠かさずに観劇されておられるとの事。この日も大分公演が千秋楽というので駆け付けられ、つか氏が生前に撮られた稽古風景や公演の貴重なCDやつか氏の晩年の写真など研究会に持参して頂きました。

当研究会の資料とし大切にするとともに、今後の研究会で皆さんとCDを鑑賞してつかさんの作品に触れていきたいと考えています。

## ◇つかこうへい氏の作品集

### 寄贈の取組みについて

昨年、(株)トレンドシエア様より、つかこうへい氏の作品集全

(32冊)を筑豊の図書館や大学などにご寄贈戴きました。ありがとうございます。ご寄贈戴いた図書館と大学等は以下の通りです。嘉麻市立嘉穂図書館、同碓井図書館、同山田図書館、飯塚市立図書館、田川市立図書館、桂川町立図書館。近畿大学産業理工学部福岡キャンパス、近畿大学九州短期大学、田川市石炭・歴史博物館等。尚、トレンドシエアのHPに「つかこうへい作品集」が紹介中です。



写真は桂川町立図書館にて

## ◇2月定例会のご案内

日時・2月23日(第4土曜)  
13時30分〜15時30分

場所・善照寺(嘉麻市上西郷590)

☎ 〇九四八一五七〇六四五

問合せ先・〇九〇一四四七四八〇五一